

公益財団法人

宮城県国際化協会

MIYAGI INTERNATIONAL ASSOCIATION

倶楽部

MIA

みやぎの多文化な人 宮城県内で活躍している海外出身者をご紹介します。

## 家具で暮らしに 夢を届けたい



金 一峰さん

中華人民共和国 遼寧省出身  
有限会社相馬屋家具店勤務  
岩沼市在住

——来日のきっかけと今の仕事につかれるまでのことを教えてください。

遼寧省の瀋陽出身です。子どもの頃から日本のアニメや漫画が好きで日本語の勉強をはじめ、父のすすめで高校卒業後に日本に留学することにしました。仙台で日本語学校と専門学校に通いました。来日する前も日本語は勉強していましたが、実際に使われている日本語とは違いも多く、慣れるまでは大変でした。専門学校卒業後、いくつかの仕事を体験しました。中国は学歴や人脈が重視される社会ですが、日本は学歴にとらわれず、頑張った分だけ自分で道を切り開いていくことができるのがいいですね。一度東京で働いたことがあったのですが、やはり住みややすさが忘れられず、仙台に戻ることにしました。そのうちに日本人の妻と出会い、結婚を機に妻の実家の家業である家具屋を手伝うことになりました。

——仕事について教えてください。

販売部長として接客、家具の販売・配達、イベントや販売会などの企画も行っています。13年くらい前にこの仕事についた時は、家具についての知識が全くなく、苦労しました。ある時、お客様が「鏡台ありますか」と来店されたのですが、「鏡台」を“兄弟”だと思い、「すみません、私は一人っ子で兄弟がいません」とお答えしてしまったこともありました。

続けていくうちに、家具の魅力を知り、次第にこの仕事が好きになっていきました。扱うのは国内のメーカーの高品質・高価格のものが多いのですが、家具自体のよさを知り、それを多くの方に紹介したいという気持ちが出てきました。また、接客や配達を通して、家具が“家族をつなぐもの”であると感じるようになりました。いい家具を修理しながら世代を超えて長く使ったり、何かのお祝いで家族に家具を贈ったりしますね。日本ならではの文化だと思います。

私が仕事を始めた頃は、まだ震災の復興もあまり進んでいない時期でした。当時は仏壇の修理も多く、泥だらけだった仏壇がきれいになって戻って来た時の、お客様のほっとした表情は忘れられません。その様子を目にする度に目頭が熱くなりました。

この仕事をしていて、母国の両親との関係も変わったと感じています。父はとても教育熱心で厳しく、長い間複雑な思いを抱いてい



店頭で商品を確認する金さん

ました。でも数年ぶりに両親に再会した際、その姿を目にした瞬間、なぜか許すことができたのです。とても不思議な感覚でした。仕事でいろいろな家族が互いに思いやる姿を目にして、私も変わったのだと思います。一緒に働く妻は、家族であり、よき仕事仲間でもあります。お互いが足りないところを補い、引き立てあっていると感じています。家具を売るという仕事を通して、日中どちらの家族のつながりも強くなっているのかもしれない。

——SNSに力を入れているそうですね。

はい。どんな商品があり、それによって生活にどんない変化があるのかを、動画を通じて知ってほしいという気持ちではじめました。中国ではよりよい生活をするため、頑張ったご褒美として高価な家具を求める人が多いですが、日本では安価な家具の需要が大きいですね。せっかく国内にいい製品が多くあるのに、もったいないと感じていたので。それに加え、既存のSNSの家具についての投稿は、安さを売りにしたものがほとんどで、そこに一石を投じたいという思いもありました。

ストーリーを考えて動画を撮影し、編集まで全て一人で行うので、1分ほどの動画を作るのに数時間かかります。日本にいる同胞にも、日本のいい家具に出会ってほしいので、中国語の字幕をつけたものもあります。動画作成はとても骨の折れる作業ですが、「投稿を見ました」とお客様やメーカーの担当者から声をかけて頂くことがあったりして、うれしいです。投稿がきっかけで実際に家具をご購入頂いた方もいらっしゃいました。

——これからの目標はありますか。

安価な店の台頭で競争が激化し、私たちのような昔ながらの家具屋の存在意義が問われています。顔を見なくても家具を買うことができる時代だからこそ、より多くの人に扱っている家具や、地元の家具屋ならではのよさを知って頂きたいです。家具には“夢”があるんですよ。どんな家具を購入するか考えることは、理想の暮らしを思い描くことでもあります。地域に密着した家具屋として、日々の仕事やSNSでの発信を通じ、より多くの方に生活の中で夢をもって頂くお手伝いをしていきたいです。

# MIA日本語講座 2026年4月から新学期が始まります!



MIA日本語講座を開講します。身近に日本語を勉強したい外国人がいらしたら、ぜひご紹介ください。

多言語(日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、クメール語、ウクライナ語)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員
初級1 初級2	火～金	10:00～12:00	4月7日(火)～7月16日(木)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥27,500 ※テキスト代別	初級1・2 各18人
中級	火・木	13:00～15:00	4月7日(火)～7月14日(火)	『できる日本語 初中級』	¥14,000 ※テキスト代別	18人

■場所 宮城県国際化協会 (MIA)

■各言語のチラシはこちら <https://mia-miyagi.jp/2601jc>

■お申込みはこちら <https://mia-miyagi.jp/2601japanesecourses>

チラシ



お申込み



## 未来の東北博覧会記念国際交流基金助成金—助成事業募集のお知らせ—

MIAでは、昭和62年に開催された「未来の東北博覧会」を記念して創設された、未来の東北博覧会記念国際交流基金を活用して、国際交流・協力事業や多文化共生推進事業を行う民間の国際交流団体等へ助成を行って、現在、令和8年度に助成する事業を募集しております。申請に関するご相談は、申請受付期間に限らずいつでも受け付けておりますので、ご連絡ください。

●**助成対象:**民間の国際交流団体などが行う下記の事業

- ①国際交流事業
- ②国際協力事業
- ③多文化共生推進事業

●**対象団体:**宮城県内に主たる事務所を有する非営利団体。

なお、団体の構成員の半数以上が宮城県内に住所を有し、活動するもの。

●**助成金額:**総事業費(渡航費を除く)のうち20万円までは1/2以内とし、20万円を超える残りの総事業費については2/5以内を限度とし、単位は1万円とする。(ただし、80万円以内)

●**締切**

助成対象事業の実施時期	受付期間
4月1日から 6月30日までの間に開始する事業	1月1日から 2月10日まで
7月1日から 9月30日までの間に開始する事業	4月1日から 5月10日まで
10月1日から12月31日までの間に開始する事業	7月1日から 8月10日まで
1月1日から 3月31日までの間に開始する事業	10月1日から11月10日まで

※詳細は下記URLリンク先をご確認ください

URL:[https://mia-miyagi.jp/grant\\_kikin.html](https://mia-miyagi.jp/grant_kikin.html)

## 通訳倫理について学ぶ

### 「MIA外国人支援通訳サポータースキルアップ研修会」のご報告

医療機関や行政などの現場で通訳を行うMIA外国人支援通訳サポーターを対象とした研修会を1月29日にオンラインで開催しました。今回のテーマは通訳倫理です。講師は東京外国語大学准教授内藤稔氏でコミュニティ通訳を専門とされています。

通訳者は単なることばの置き換えではなく、言語・文化的マイノリティを支援し、ホスト社会につなげる「橋渡し」の役割を務めており、そのために言語や文化の違いで誤解が生じるような場面では通訳者はそのことを話者に伝えて、コミュニケーションの円滑化を図ることが求められるといった指摘がありました。また、守秘義務の徹底や通訳者自らの個人情報の管理についても言及があり、同僚間では同情心などから相談者である外国人と連絡先を交換してしまっ後々トラブルになることが見られるので、やはり一線を画すべきとしました。

参加は19名で、講義の後には質疑応答が続きました。ある参加者からは「通訳活動を振り返る機会があると通訳スキルの向上にもつながると思うが、そういう場がなくて残念」との発言があり、内藤氏は「案件によっては深刻、重篤な内容が含まれ、通訳者にも大きなストレスがかかることもあるので、振り返りの場はストレスケアの観点からも有効」との回答がありました。

※この研修会は自治体国際化協会CLAIRの地域国際化推進アドバイザー派遣制度を活用しました。

## 「みやぎ外国人相談センター」から

**Q** 私はベトナム人で、同国人の妻と子どもとともに日本で暮らしています。離婚をしたいと考えていますが、子どもの親権をどちらが取るかで合意に至っていません。

**A** みやぎ外国人相談センターのアドバイザー弁護士の見解は下記のとおりです

ベトナム人同士の離婚の場合、ベトナムの法律が適用されます。離婚するには、本国で裁判を行う必要があり、その中で子どもの親権についても決めることになります。日本の家庭裁判所でベトナム法を適用した離婚調停・裁判を行うことも可能ですが、言葉の問題もあるため結果が出るまでに時間がかかり、弁護士に依頼した場合はその費用もかかります。

## みやぎ外国人相談センター

対応日時：月曜～金曜（午前9時～午後5時）

※年末年始及び祝祭日を除く。

**TEL:022-275-9990**

対応言語：英語、中国語、韓国語、タガログ語、タイ語、ネパール語、  
ヒンディー語、ベトナム語、インドネシア語、スペイン語、  
ポルトガル語、ロシア語、クメール語、日本語

Miyagi Support Center for Foreign Nationals  
みやぎ外国人相談センター  
Trung tâm tư vấn người ngoại quốc Miyagi  
Pusat Konsultasi Untuk Orang Asing Miyagi  
TEL 022(275)9990  
日本語を含む14言語で対応します  
月曜日から金曜日 9:00~17:00, Monday - Friday 9:00a.m. - 5:00p.m.  
対応言語: 英語, 中国語, ベトナム語, ネパール語, ヒンディー語, インドネシア語, スペイン語, ポルトガル語, ロシア語, タイ語, クメール語, タガログ語, 日本語

## 清水 孝夫さん（国際サークル友好21顧問）を偲んで

石巻市の市民団体「国際サークル友好21」を1999年に創設し、長らく事務局長として石巻地域の多文化共生社会の推進、特に在住外国人の社会参画、地域社会での自己実現のために尽力された清水孝夫さんが昨年12月13日にお亡くなりになりました。3人の外国出身者に清水さんとの思い出を伺いましたので、追悼の意を込めてここにご紹介します。

高橋リヤネットさん 夫の実家が清水さんの自宅と近かったこともあり、なにかとお世話になりました。市内の小中学校でフィリピンから来た子どもに日本語を教える仕事に就いたのも清水さんが石巻市教育委員会に連れていってくださったからです。私が代表を務めていたフィリピン人のグループを市社会福祉協議会に紹介いただき、福祉まつりに参加するようになって、たくさんの石巻市民とつながりができました。清水さんは、地域に暮らす外国人と日本人の距離を縮めたいとよく言っていて、私たちの背中をどんどん押してくれました。

阿部桂子さん 2017年、私の出身国、コロンビアで豪雨による大規模洪水が発生しました。石巻地域に暮らす中南米出身者が集まって話し合い、石巻市内で募金活動をすることにしました。清水さんは市役所、新聞社、ラジオ局などに情報を提供し、また募金会場の利用許可の手続きをしてくれました。募金当日は清水さんの紹介でリヤネットさんのフィリピン人グループも応援に来てくれ、一緒に募金活動をしました。集まった10万円以上のお金を赤十字に振り込むところまで清水さんに手伝ってもらいました。

三川小夜子さん 中国の温州市から研修生として石巻に来たのが30年以上前のこと、以来ずっと清水さんにお世話になってきました。中国の両親を早くに亡くしていましたので、清水さんは私にとってお父さんも同然です。縁あって石巻の男性と結婚し、子どもを育てているときに孤独を感じ、いまのように情報も通信手段もない時代でしたので、日本語を勉強したいと清水さんに相談したのが始まりで、「国際サークル友好21」ができました。震災のとき、家も仕事場も失った私たちのところに清水さんは自転車で来て、カップラーメンを届けてくれたことも思い出されます。



技能実習生など働く外国人向けに日曜日の日本語教室を2016年から開講。  
中央奥スーツ姿の清水さん。

MIAの国際理解教育支援事業では県内の小中学校等に外国人講師を紹介しています。このコーナーでは講師が自分の国を紹介する「とっておき」の方法をお伝えします。

## 第5回 スコットランドの踊り「ケーリーダンス」

フランチェスカ ルチェ=ウィルクス さん イギリス・スコットランド出身



ダンスの動きを説明するフランチェスカさん

訪問する小学校からアクティビティをやってほしいというリクエストがあり、年齢問わず楽しめるケーリーダンスがいいのではと思いました。ケーリーダンスはペアになってステップを踏みながら輪になったり列を作ったりするフォークダンスで、スコットランドの小中学校では低学年から体育の授業で習います。大学のフレッシュャーズ・ウィーク(新入学生のための様々な催しが行われる期間)や地域のイベント、結婚式などでもよく踊ります。

子どもたちに紹介する時には、初めにスコットランドの小中学生が踊りを習っている様子を写真で見せて興味を持ってもらえるようにしました。また、ペアの動きを日本語で説明できるか心配だったのでスライドのアニメーション機能を使ってどのように動くかをモニターで見せてからステップの練習をするよう工夫しました。最初は恥ずかしそうにしている子も、ステップができてくると自信を持って踊る姿が見られました。簡単なステップにしたことや、ペアのダンスですが今回はあえて男女ペアに分けなかったことも良かったのかもしれません。またやってみたくてくれた子もいましたし、私自身も以前から紹介したいと思っていたので、今回実現できて嬉しかったです。今後は高校生や中学生にもこのダンスをやってほしいと思っています。ステップも少し難しくして音楽も変えてみたらどんな風になるかな…考えると楽しみです。



## みやぎの国際活動団体

浦谷町国際化協会 会長 後藤 勝則さん 事務局 大友 直子さん (浦谷町企画財政課)

毎月第1、第3火曜日には「E-meet-up(イーミーアップ)」という英会話教室を実施しています。小学生から大人の方までご参加頂いており、車座になって英語を「聞いて話す」ことで日常会話を学んでいます。昨年11月には、イングリッシュフェスタというイベントを開催し、英会話教室に参加している小学生の英語スピーチの発表や、英語でのゲームなどを行いました。12月には町内在住の韓国出身の方とそご友人を講師とした料理教室を実施しました。和気あいあいとした雰囲気の中、キムチづくりを楽しむ姿が見られました。

浦谷町は韓国の扶余郡林川面と友好都市を締結しています。感染症拡大などの影響で中断していた交流が令和5年度から再開し、今年度は10月に浦谷町訪問団が林川面を訪問しました。来年度は4月の桜まつりに林川面からの訪問団をお招きする予定です。

◎会員を募集しています。

会費(年間)：一般会員1,000円、学生会員500円、団体会員5,000円

お問い合わせ：浦谷町国際化協会(浦谷町企画財政課内)

TEL：0229-43-2112

Mail：gr-kikaku@town.wakuya.miyagi.jp



イングリッシュフェスタでのスピーチの様子

## サポーターの声

真壁 玲子さん MIA日本語サポーター

2022年に日本語サポーターに登録をしました。中国出身のAさんの学習支援が私の初めてのサポートです。Aさんは長く日本に住んでいて、既にとても高い日本語能力をお持ちでした。それでも、家庭内の言語が中国語なので、もっと生活に必要な日本語を学ぶということに意欲がありました。

活動は主にオンラインで行いました。はじめは自分には難しいと思っていましたが、慣れてみれば移動の手間もなく、とても便利でした。Aさんからの質問は多岐にわたり、「こんな時、日本人に対してどう対応するのがよかったのか」という文化・習慣に関するものもありました。私の前職と彼女の専門分野は医療分野という共通点があり、資格取得に向けたお手伝いもしました。専門用語の資料が前日にメールで送られてきて、私と一緒に漢字の読み方を確認したこともあります。私にとって互いに学びあう貴重な経験になり、感謝しています。

Aさんから

この約2年半の間に真壁さんには、人として、それから同じ業界で働くものとして、多くのことを教えて頂きました。このような素晴らしい「人生の先生」に出会えたことを心からありがたく思っています。

## 賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



### ●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

### ●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円  
団体会員/1口 10,000円

### ●賛助会員の特典

◎協会機関紙 宮城県国際化協会機関紙  
倶楽部MIAの定期送付(年4回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引

◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供

### ●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。

所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 **MIA** vol.142

編集・発行  
公益財団法人 宮城県国際化協会  
〒981-0914  
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号  
宮城県仙台合同庁舎7階  
TEL 022(275)3796  
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL https://mia-miyagi.jp

